

ぜんしゅうきょう

2017
7月
July

通巻86号

第30回通常総会を名古屋で開催!!

平成29年5月23日(火)、東海地区の名古屋マリオットアソシアホテルにて第30回通常総会が開催されました。総会の出席状況は、組合員数350名に対して、出席組合員93名、委任状出席186名、合計279名で出席率は79%となりました。定款38条に定める総会成立条件の過半数を超え、本総会は有効に成立いたしました。



名古屋駅に直結する会場の名古屋マリオットアソシアホテル

総会当日午後から三役会・各委員会・ニューリーダー部会が行われ、15時より第30回通常総会が開催されました。司会は西春貞男氏。顧問税理士をお務めいただいております望月博元先生にはご来賓としてお越しいただきました。小室副理事長の開会の辞に続き、昨年度



司会の西春貞男氏

のご挨拶。全国中小企業団体中央会会長大村功作様より祝電をいただきました。

講演会ではTVでもお馴染みの中部大学・武田邦彦教授をお招きしました。転換期を迎えているこの業界に寄せて、豊富な知識から科学的な命と祈りについて独特のユーモアに溢れる話術で皆さんの笑いを誘いながらお話しいただき、終始なごやかな講演会となりました。(P4～P5に掲載)

その後の懇親会に武田先生もご参加いただき、名古屋甚句の三味線と踊りを拝見し、フランス料理の

ほか名古屋の名物料理も堪能しました。ニューリーダー部発足10周年記念の記念品贈呈も行われ、最後に開催キーの受け渡しが東海地区から九州地区へされて、一日目を終了しました。

翌日は、東海地区の皆様のご協力でのエクスカージョンおよび親睦ゴルフコンペが滞りなく行われました。(P6に掲載)

◆ 通常総会

小堀理事長より総会へ挨拶



小堀賢一理事長

全宗協の通常総会第30回という節目の年に、東海地区の皆様が総会をはじめすべての段取りをしていただいたことに厚く御礼申し上げます。

この30周年を記念し、組合員証の盾を制作させていただきましたので、後日皆様にお送りいたします。以前の盾は「最優良店」と書いてあり、その「最」がついている

ことにより景品表示法上の不当表示の可能性が有りますので、これを取り除き「優良店」としました。それと「通産省」という古い名称も「経済産業省」に変更しました。

次に、PRAY for (ONE) についてですが「一般社団法人PRAY for (ONE)」が設立され、その協力団体が70以上になり、業界の垣根を越えて広がっております。いい先例をみる事ができました。

一つ反省点になりますが、全宗協が以前から推進している「お仏壇の日」は全宗協以外に普及していません。宗教用具業界には全宗協をはじめ協同組合を中心に30ほどの団体がありますが、業界が同じような危機意識を持って、同じようなことに取り組みようとしているのに、これは全宗協、これは他の組合というように違う方向を見えています。

全宗協の相談役である安田松慶氏からも、業界が危機的といわれる時になぜバラバラになっているのか、業界が同じ方向を向いて共通の事業をやるべきではないか、とアドバイスをいただきました。そこをきちとして初めて全宗協の「全」という名前がつけ

られるのではないかと思っています。和辻哲郎さんは、「仏教そのものには教義が見つからない、仏教というのは潮流があるだけだ」という言い方をされてきました。膨大な経典はあっても集約された教義がない、その仏教を中心に我々は仕事をさせていただいているわけで、だから皆バラバラな方向を向いているのかもしれない。しかし、業界のこういう現状、これから進むべきことを考えた場合、全宗協以外も巻き込んで一緒に進んでいきたいと思っております。

【目次】

P1	通常総会
P2	各委員会事業報告
P3	懇親会、地区協議会役員・委員名簿
P4	講演会 工学博士 中部大学教授 武田邦彦氏
P5	
P6	エクスカージョン、ゴルフコンペ、事務局からのお知らせ

各委員会事業報告

■ 総務委員会

① 全国研修会

平成28年10月5日(水)～6日(木)、メルパルク京都にて第1回全国研修会を開催。計4名の外部講師による講演とワークショップを開催。より具体的なイメージ化によるマーケティングのワークショップが参加者の好評を得た。本年度も中央会の補助を受けての開催となった。

平成29年2月23日(木)、(株)エッサム神田ホールにて第2回全国研修会を開催。保志広報委員長による全宗協のブランドシンボルの発表とプロモーションビデオの紹介があり、今後の加盟店の活性化について提案があった。また、小堀理事長から冊子『日本人が誇る無宗教』の発行について、PRAY for (ONE) の今後の展開について講演いただき、理解を深める研修会となった。

② 会報の発行

7月、12月、3月と年3回会報『ぜんしゅうきょう』を発行した。

■ 広報委員会

① 京都清水寺圓通殿にて平成28年6月と10月に、『「PRAY for (ONE) 小さな祈りのプロジェクト」の成就法要』を2回開催。

② 7月5日(火)～6日(水)、パシフィコ横浜にて『フューネラルビジネスフェア2016』に出展。

③ 8月22日(月)～24日(水)、東京ビッグサイトにて『エンディング産業展』に出展。

④ 平成29年2月23日、第2回全国研修会で全宗協のブランドシンボルおよびPR映像を発表。(CM「大切な人」編、You Tube動画試写 (東北博報堂様よりCM放映のご案内など))

今後の全宗協加盟店の活性化について提案した。(PRAY for (ONE)を広げる活動と関連イベントとの相乗効果……母の日参り、御朱印帳の活用など)

■ 事業委員会

① 30周年優秀店記念額の件 (加盟店すべての組合員へ無償で1枚配布)。登録会社名、または屋号の刻印の件、支店分の追加購入について協議。支店分も登録会社名、または屋号での刻印を同一表記とすることに決定。

② PRAY for (ONE) の後方支援。

■ 正常化委員会

仏壇公正取引協議会への情報提供。

① 広告、チラシの表示 43件(二重価格の疑い、「地域一番」「最高」など、原産国等の表示内容)

② その他 3件

※全宗協顧問弁護士に依頼して、消費者庁に資料提出し対応中のものが2件。

■ 会員増強委員会

① 平成28年6月23日(木)メルパルク京都合同委員会にて、宗教工芸社住田社長と会員増強に繋がるホームページ作成の意見交換。

② 平成29年2月23日(火)第3回役員会にて住田社長より全宗協ホームページリニューアルの報告。

※29年度4月1日より新サイト公開。

■ ニューリーダー部

① 平成28年5月24日(火) NL部総会

② 平成28年11月10日(木)～11日(金) 福岡研修会
製造現場研修 家具工房見学 店舗視察

③ 役員会(年4回開催)

④ 平成28年10月5日(水)～6日(木) 組合研修(1)

PRAY for (ONE)を軸にした祈りのマーケティングと販促実践
「だから売れなかったのか!」と思わず叫ぶ一日になる。

⑤ 平成29年2月23日(木) 組合研修(2)

全宗協PR映像・YouTube映像作成経過報告 広報委員長 保志康徳
『小さな祈りのプロジェクト』冊子発行について 理事長 小堀賢一



懇親会



懇親会は華やかな唄と舞で幕を開けました。名古屋弁での名古屋甚句、稲舟派二代目家元 稲舟妙寿さんによる三味線演奏、花柳流舞踊家 花柳せいらさんによる日本舞踊が披露されました。

今回の総会開催地、東海地区協議会会長の小室健次郎氏から小堀理事長へ開催キーの返還、そして次年度開催地九州地区協議会副会長の東純一氏へ開催キーの伝達が行われました。



開催キーが東海地区から小堀理事長へ返還



そして次回開催の九州地区へ

東海地区 実行委員長 杉浦 伸司 氏

「皆さまこんばんは。ご遠方より、そしてお忙しい中、名古屋へ足を運んでいただきまして誠にありがとうございます。今の煩惱の世の中から、慈しみ・慈悲の心が溢れる幸せな世の中を作っていくこと、この場をそういう一歩にさせていただけたら幸いです。意義ある会にさせていただきますことをお願い申し上げまして、実行委員長のご挨拶とさせていただきます。今日はよろしくお願いたします」



10周年を迎えたニューリーダー部の皆さん
安田部長より小堀理事長へ記念品が贈られました



東海地区の見事なチームワークにより
滞りなく進行し、宴も大いに盛り上がりました



《地区協議会役員・委員名簿》 (平成28年度～平成29年度)

●委員長 ○副委員長

地区	地区協議会会長	地区協議会副会長	総務委員会	広報委員会	事業委員会	正常化委員会	会員増強委員会
北海道 東北	八田 守立	升谷 昇平 丸屋 輝夫	升谷 昇平 藤村 義郎	●保志 康徳 小嶋 長一	丸屋 輝夫 佐々木文巳	小野 隆市 兒玉 高周	八田 守立 佐藤仁一郎 渡部 徳章
関東 甲信	前田 平成	坂田 晴義 山田 宗宏	松野 智幸	川本 恭央	鳥居 邦夫 辻 幸明	山田 宗宏	小森規興志 小仲 正克 前田 平成
北越	木本 隆久	本保 実	廣川 勝彦 関 秀道	山口 敏雄 木本 隆久	●池田 典明 大竹 正信 星野 幸博	笠原他喜雄 大越 則夫 岐津 晃平	藤田 整司 竹澤 恵子 吉田 竹也
東海	小室健次郎	杉浦 伸司 河田 栄治	杉浦 伸司 山田 宗宏	○横井 浩 川喜田 彰	小室健次郎 長坂 憲樹	岡林 靖之 水野 清仁	○河田 栄治 柴山 幸孝 河野 善孝
京滋	吉田 光宏	田中 雅一 橋本 晃一	●吉田 光宏 刑部 正巳 土屋 隆 大久保 武	三浦 豊隆	○伊藤 晃	加茂 定治 神戸 良司	●橋本 晃一 大介 正高 畑 正高
阪奈 兵和	佐倉 弘	濱田 明彦 山中 誠人	山中 誠人 中田 信浩	濱田 明彦	○中造 和夫	佐倉 弘 松谷 和美	福井 正彦 下村 暢作
中国	高山 正	今浦 公博	今浦 公博 中谷 哲夫	高山 正 藤田 孝夫	中原 博	横田 正登	三村 邦雄
四国	木下 進	森 正	木下 進 田中 嘉男 福井 高夫	立花 孝文 世良 美和	吉本 康彦 依岡 敏治 高久保一幸	●森 正 岩佐 武彦	上林 幸則 岸本 耕三 今山 秀人
九州 沖縄	白川 十郎	東 純一	○江頭 那将	野上 嗣之	東 純一	○白川 十郎	吉川 和毅 中島 康憲
担当 副理事長			小室健次郎	小室健次郎	池田 典明	白川 十郎	八田 守立

講演

「科学から見た

命と祈りの大切さ」

工学博士 中部大学教授 武田 邦彦氏



昭和18年東京都生まれ。昭和41年東京大学教養学部基礎科学科卒業。旭化成工業(株)に入社、ウラン濃縮研究所長、芝浦工業大学工学部教授、名古屋大学大学院教授を経て、現在、中部大学総合工学研究所の特任教授。

私は物理学者なので、最新の知見も交えてお話をさせていただきます。会場に来て、まず受付で『日本人が誇る無宗教』という小堀理事長の著書を見ました。確かにその通りで、ヨーロッパなどは宗教観が違います。ハロウィンやクリスマスを祝い、正月は初詣に行くのに無宗教、これは一体何か？ 憲法には「信教の自由」とあります。これはヨーロッパの宗教の概念で、日本にはもともと信教の自由はないと私は思っています。普通、科学者は魂や死後の世界は否定するのですが、最先端のノーベル賞クラスの方の中では、科学はそれほど傲慢ではありません。たとえば紫式部は今から千百年くらい前の人ですが、私が紫式部にスマホを渡して、「これで光源氏に電話をして下さい」と言ったら「あ

なたは悪魔ですか？」と言われると思います。赤穂浪士が同志たちと連絡するのにスマホを渡しても同じ。我々が科学で説明できる範囲は実に小さく、我々も、今から千年後に使われている物を見たら、悪魔と思うかもしれません。だから我々の科学は一步一步進まざるを得ません。科学者は心の問題を否定すると思っている方もいるかもしれませんが、決してそんなことはありません。それを前向きとしてお話しします。

私の専門は物理ですが、今日は生物を中心に話します。人間の男女を考えますと、子供を産めるのは女性だけで、男性は産めません。お母さんが出産・子育てをしている間、お父さんには生きがいが必要。昔は兵役がありました。25歳まで、期間は一年半。将校の教育が2年だから、兵隊が一年半も教育する必要はない。これは「十月十日×2」なんです。男性には国が兵役を強制して、抵抗すると監獄に入るといふ厳しい掟を作りました。女性と男性が等しく苦勞して国を支える、これが男女のバランスとされました。哺乳動物のメスは生理が終わったら死にます。ところが人間の女性だけは例外で、閉経後も生きています。おばあさんは結構元気で、平均寿命が男性より長い。なぜだろうか？ 皆さんはご存じかもしれませんが、寿命は健康とは関係がなく、健康だから長生きするという動物はいません。死のスイッチが

いつ入るかで変わります。

動物には死のスイッチが入る原則が3つあります。たとえばネズミの寿命は1年ですが、ゾウは20年以上生きます。骨や皮、筋肉の構造は皆同じなのになぜでしょうか？ 身体が弱って死ぬのならネズミも20年生きることができませんよね。ところが、ネズミは身体が真新しいまま死ぬ。どうしてこんな差ができるのかと言うと、ネズミは小さいから振り返るのに1秒、ゾウは20秒。この振り返る時間の比率で寿命が決まります。これを「経験数一定の原理」と言います。あらゆる動物に生涯の同じ時間が与えられているわけではありません。これが1つ目の死のスイッチが入る原則です。生物界を全部覆っているのはこの「経験数一定の法則」です。

2つ目は「命」。何のために生きていますかと言うと「命をつなぐ」ため。我々の行動・価値の核は「命をつなぐ」ことで、だから命を大切にするので、でも私個人命を大切にするのはなく、重要な命は、父と母が結婚してくれたから僕命があり、僕が結婚したから娘の命があり、娘が結婚したから孫の命があるということ。かくして命が1万年も続きます。鮭は栄養のない川で産卵しますが、途中で稚魚が餓死しないように親が死んでその身体を稚魚たちのエサにします。これが第2原則です。命をつなげてくれた先祖や子孫に感謝し、お祈りをす

る、大事なことです。

そして3つ目。これが我々にとっては重要で、「集団に対して貢献する」ということ。動物というのはものすごく面白くて、集団性の動物と集団性じゃない動物がいますが、どちらも集団でなければ生きていけない。これは本当に不思議です。イワシを例にとると、100匹が快適に暮らす水槽に新たに10匹加えると、新旧に関係なくお互いにウロコをこすり合わせ、ケガをして自殺してしまいます。100匹に合わせるのです。なぜかはわかっていませんが、生物界ではこういうことがすごく多い。社会の構造を創るといふのは本当に難しいことです。イワシは大きな魚が現れると自分たちがたくさん集まって、さらに大きな魚に見えるように形成しますよね。これ伝達方法がわかっていません。我々の伝達方式も、五感以外にもまだまだいっぱいあるはずなんです。その中で一番研究されている「アフォードダンス」というのがあります。環境が人間や動物などに働きかけ、与えるものです。今ここにあるシャンデリアも皆さんがそう思っているのではなく、シャンデリアからこれはシャンデリアですよ、と訴えかけている。人間の感性がわかるのはどこまでかというのは、いまだにはつきりしていません。

そして先ほどの、人間の女性なぜ閉経後も生きているのかに戻りますが、研究でわかったことは「お世話」が関係し

ているということですが。孫のお世話をしているお婆さんは長生きします。自分の健康ばかり考えている人はがんになる。爺さんの世話でも、コンビニのレジでも、ウェイトレスでもお世話なら何でもいい。身の回りをお世話すれば長寿、そのためにお婆さんには死のスイッチが入らないようにしています。女性は他人との関係において自分の命が繋がれている。

では男性はどうなのか。昔は25歳までは兵役、50歳になったら戦争、50歳以上はどうかというところ、「命を賭けても田畑を守れ」と言われていました。今は兵役も戦争もなく、50歳以上は生き甲斐がまったくない。社会の役に立つ貢献をしないと、満足感も得られない。男性も女性も他人のために役立つということが基本で生きているわけですから、自分のために儲けることなんか何の役にも立ちません。私は稼いだお金を家内にそっくり渡しています。それが一応生き甲斐になっただけで、そのせめてもの見返りとして背広を買ってもらったりする。それが、男性が生きている最低の理由ではないでしょうか。

平均寿命は、女性は90年前、男性は80少し。女性の場合は夫がいても独りでもほとんど寿命は変わらないけれど、男性が80を超えて生きているのは連れ合いがいる場合のみ、独身男性はマイナス10歳というのが国連の統計です。さらに、土地を遺しておくこと、職を確保するこ

と、そして年金を整備することです。

今、我々が守られているのは、お爺さんたちが戦場で戦ったり、年金制度を作ってくれたお蔭なんです。だから、まずお爺さんにお祈りするのとは当たり前のこと。お父さんも高度経済成長の頃は一生懸命働いて日本を豊かにしてくれた。



1961年に年金も作ってくれた。だからお父さんにもお祈りしなければならぬ。では、我々は子供に対して何か貢献しているのか？ 昔の40代の父親がすごく政治に関心があったのは、目の前に中学生の子供がいたから。その子たちの将来を考えていた。そういう社会に戻さないといけません。今、僕らが子供の

頃より日本はほとんどダメになってきています。

だから言うのではありませんが、ご先祖様に感謝し、先祖は一体我々に何をやってくれたのか、これから何が必要なのかを静かに考える時間として、お祈りの時間は非常に大切。どの神様を深く信ずるということでなくても、1日1回は日本社会や寿命のことを考える。がんになるのは自分のことばかり考えているからです。「利己主義」と「利他主義」がありますが、動物はすべて「利他」で、「主義」なんていうのはありません。他人からありがとうと言いますと言われる以外、我々は生きている価値がない。だから死のスイッチが入る。がんの最先端研究でがんにならない方法を発見したと言っている学者がいますが、第一に「日光浴」。第二に「深呼吸」。3つ目に「熱い風呂」。これが基礎三要件です。

死後の世界は必ずあると思います。8割ぐらいはある。物質が先か、精神が先かというところ、相当程度精神が先かもしれない。全然否定はできません。ただ、今のところ目に見えるもので考えていても、わからないことは山ほどあります。私が学生の頃は、真空は何もないと習いましたが、今の物理ではぎゅっ詰まっていますと習います。それが科学、学問というもので、一歩一歩築いていくしかない。お釈迦様とか偉い人は一足飛びに飛びます。釈迦もキリストもマホメットも孔子

も皆自分より偉いけど、どの人が一番偉いとは選べませんよね。たまたま親がどの宗教であったかということ。私はたまたま浄土真宗ですが、何の根拠もなく、その意味では未知の世界です。

これについて、最後に一つ逸話をご紹介します。昔、元のフビライ・ハン（ゲン）は世界中を統治しました。世界史はモンゴルから始まるというのはその通り。これは作り話かもしれませんが、マルコポーロがシルクロードを通って元に来た、その彼にフビライは質問しました。

「君は世界を旅して来た。仏教の国ならお釈迦様を信じていたら、天国でお釈迦様に会うだろう。キリスト教を信じていたらキリストに会うだろう。だけど、私は不幸にしてすべての神の国を占領してしまっただけです。すると私はどの神様を信じていたら天国で苛められないだろうか？」と。そのことを通じて、人間の知恵の及ぶ範囲がどこら辺までか確かめたかったのだと思います。

本日お話しする機会を得たわけですが、現代の日本は人の心や心の痛み、他人へ対する思いやりとか、そういうことがすっかり忘れられた社会になってしまいました。しかし、日本は世界に冠たる精神性の高い国ですから、それぞれの宗教の前で社会とか人生とかをゆっくり考える場を皆様のお力で作っていただきたいと思う次第です。

● エクスカッション ●

名古屋城～徳川園コース

幹事：有限会社 河野佛具 河野 善孝 氏

金のしゃちほこで有名な名古屋城へ。天守や木造復元工事中の本丸御殿の素屋根内の見学をしました。この工事に携わっておられる愛知県在住の仏壇・仏具職人の方に同行していただき、復元の工程やご苦労を伺いながら、江戸時代の粋で豪華な障壁画や格天井、建築金具の説

明を皆さん興味深く聞いていました。

その後徳川園へ。敷地の一角にある宝善亭での昼食後、尾張徳川家に代々伝わる大名道具の数々をはじめ、国宝の源氏物語絵巻などを展示する徳川美術館を見学、そして庭園を散策しました。心が豊かになる1日となりました。



本丸御殿前で記念撮影。
ここから復元工事現場に向いました。



存在感ある六葉金具



漆塗りが見事な上段の間

親睦 ゴルフコンペ

会場 新南愛知カントリークラブ美浜コース
(毎年女子プロトーナメント
マンシングウェアレディース東海クラシック会場)
参加人数 23名

当日は天候にもたいへん恵まれ、午前9時3分アウト・イン同時スタート。伊勢湾を眺望できるコースでナイスショットも続出！思いっきりスイングして、1日楽しみました。

幹事：有限会社 三清本店 水野 清仁 氏

優勝:  今山 秀人さん
(株式会社イマヤマ 四国地区)

準優勝: 河田 栄治さん
(株式会社浄華 東海地区)

第3位: 笠原 哲人さん
(株式会社笠原昇雲堂 北越地区)

事務局からのお知らせ

1. 当面のスケジュール

- ◆ 平成29年8月23日(水)～25日(金)
エンディング産業展2017
(東京ビッグサイト・P F O 出展)
- ◆ 平成29年10月4日(水)～5日(木)
第1回全国研修会(メルパルク京都)

2. 組合関係者の訃報 (平成29年4月1日～平成29年6月20日)

【京滋地区】

(株)小堀 代表取締役社長 小堀 進様
平成29年5月18日 享年67歳

【東海地区】

(株)中埜 代表取締役社長 中埜 賢一様
ご母堂 中埜 章代様 平成29年6月3日